

製品内部のわずかな空気の漏れも塞ぎ、さらに空気清浄性能を高めた

Dyson Purifier シリーズ 新登場

ダイソン株式会社（東京都千代田区：代表取締役 ロイック レトレ、以下ダイソン）は、厳格な基準を持つ欧州規格 HEPA H13 フィルターを搭載し、微細な粒子を漏らす原因となる製品内部の隙間を徹底的に塞ぐことで、空気清浄性能をさらに高めた Dyson Purifier シリーズから、1台で空気清浄機、扇風機、ヒーターの3役として使用できる「Dyson Purifier Hot+Cool™ 空気清浄ファンヒーター」と、1台で空気清浄機、扇風機の2役として使用できる「Dyson Purifier Cool™ 空気清浄ファン」を発表しました。「Dyson Purifier Cool™ 空気清浄ファン」は5月12日から、「Dyson Purifier Hot+Cool™ 空気清浄ファンヒーター」は、5月26日からダイソン直営店、ダイソン公式オンラインストア、ダイソンお客様相談室や各家電量販店で順次発売します。



一般的に空気清浄機は、製品の組み合わせ部分に隙間があり、高性能なフィルターを搭載していても、フィルターを通過せず、製品の隙間から汚れた空気を漏らしてしまう場合があります。ダイソンのエンジニアたちは、わずかな微粒子も漏らさないために、気流の経路を分析。構造を再設計し、隙間を塞ぐことで、製品内部を密閉することに成功しました。さらに、厳格な基準を設けている欧州規格 HEPA H13 フィルターを組み合わせることで、PM 0.1 レベルの微細な粒子を99.95%閉じ込め^{*1}、有害なガス・ニオイまでも除去^{*2}します。花粉や、ハウスダスト、ウイルス^{*3}を捕らえます。また、「Dyson Purifier Cool™ 空気清浄ファン」は、気流経路を改善したことにより、運転音を前モデルと比べて最大20%低減^{*4}しています。

ダイソンの空調家電カテゴリー ヴァイスプレジデントのアレックス ノックスは次のように述べています。

「ダイソンが設計したのは、汚染物質を正確かつ着実に検知・捕集する製品です。パンデミックの影響を受け、私たちの生活空間における空気について世界的に意識が高まる中、イノベーションとテクノロジーによって、清浄された空気を提供するというダイソンの取り組みは、私たちが果たす使命です」

室内の問題でもある空気の汚れ

私たちは1日に最大9,000リットルに及ぶ空気を取り込んでいます^{*5}。外出自粛により、自宅が仕事や運動をする場にもなった昨今、日常生活のあらゆる場面で私たちが呼吸する空気について意識することが大切です。家の中では、ペットや植物、内装材、芳香剤のスプレーなど、さまざまなものが有害となりえる微細な粒子やガスを放出するおそれがあります。調理によってNO₂（二酸化窒素）などの有害ガスや、ニオイが放出され、芳香剤のスプレーや家庭用洗剤に含まれる一部の化学物質は、ベンゼンなどのVOC（揮発性有機化合物）を空气中に放出することがあります。

製品の隙間を密閉し、欧州規格 HEPA H13 フィルターを搭載^{*1}

新しいダイソンの空気清浄機は、製品からの空気の漏れをなくすため、現行品の構造をくまなく分析。24か所あったわずかな隙間を高い圧力で密閉し、厳格な基準を設けている欧州規格 HEPA H13 フィルター^{*1}を組み合わせることで、PM 0.1 レベルの微細な粒子を 99.95%閉じ込め^{*1}、有害なガス・ニオイまでも除去^{*2}します。花粉や、ハウスダスト、ウイルス^{*3}を捕らえます。

運転音を最大 20%低減した音響設計^{*4}

ダイソン マレーシア開発センターの音響室で、テストと設計を繰り返し、運転音の改善に取り組みました。製品から空気が出る開口部を広げることで、空気と製品表面の摩擦が抑えられ、空気清浄性能を維持しながら、前モデルと比べて運転音を最大 20%低減^{*4}することに成功しました。

パワフルな循環力を生み出す Air Multiplier™テクノロジー

Air Multiplier™テクノロジーにより、部屋全体の空気を清浄します。^{*6}ダイソンの空気清浄機には、気流を増幅させる独自設計の送風口が設置されています。これにより、遠くにある空気の汚れまでも引き寄せる循環力で、部屋全体の空気を清浄します。^{*6}



実際の住宅環境での機能を考慮した設計

ダイソンの空気清浄機は、実際の住宅環境で機能するように設計されています。そのためダイソンでは、27m²の広いリビングルームを想定したポーラー（POLAR）テストという試験法を考案しました。かくはん機を設置せず、9か所のセンサーで部屋中の空気の状態についてデータを継続的に収集し、部屋のすみずみまで清浄できているかをテストします。

*1 欧州規格 EN1822 に準拠し、2020 年に実施した、0.1µm の粒子を使い最大風量にて行ったフィルター性能自社試験結果。自社規格 TM-100583 に準拠し、0.1µm の粒子を使い最大風量にて行った実機の清浄能力を測定した試験結果。このフィルターでは 0.1µm 未満の微小粒子状物質については、除去の確認ができていません。また、空気中の有害物質のすべてを除去できるものではありません。PM 0.1 とは 0.1µm の大きさの微小粒子状物質です。

*2 自社および第三者機関 [CHEARI (中国)] が実施した酢酸、アセトアルデヒド、アンモニア [(社) 日本電機工業会規格 (JEM1467)]、ホルムアルデヒド、ベンゼン [中国標準規格 (GB/T18801)]、NO₂ [自社規格 (DTM-003282)] の測定試験結果 (括弧内は準拠した規格を示します)。実際の使用状況により除去率が異なります。前記以外の有害ガスについては確認していません。

*3 試験機関：(一財) 北里環境科学センター。試験方法：25m³の試験空間で日本電機工業会規格 (JEM1467) の性能評価試験にて実施。対象：浮遊したウイルス。試験機：HP07、TP07 (最大風量時)。試験結果：45 分後 (HP07) および 28 分後 (TP07) に 99%捕集。試験報告書：北生発 2020_0561 号。

*4 実感音 SONE (ソーン) 値による、TP07：約 5.55 SONE と当社従来品 TP04：約 6.95 SONE との比較。国際標準規格 (IEC-60704) に準じた自社基準に基づき自社で測定。最大風量時。音圧レベルはそれぞれ TP07 (47.4dB) と TP04 (50.4dB) になります。[SONE とは、騒音レベルを表す単位 dB に対して、実際に耳に聞こえる音の大きさ (実感音) を表す単位。]

*5 Lungs, Science & innovation, National Geographic, <https://www.nationalgeographic.com/science/health-and-human-body/human-body/lungs/>

*6 空気清浄機能は自社規格 DTM801 に準拠し、空気を送り出す自社試験、および自社規格 TM-003711 に準拠し、81m³の空間で空気清浄能力を測定した自社試験結果。ヒーター機能は自社規格 DTM961 に準拠し、35m³の空間を暖める能力を測定した自社試験結果。

製品名	Dyson Purifier Hot+Cool™ 空気清浄ファンヒーター	Dyson Purifier Cool™ 空気清浄ファン
		
機能	空気清浄機、ヒーター、扇風機	空気清浄機、扇風機
カラー	ホワイト/シルバー、シルバー/ブルー	ホワイト/シルバー、シルバー/ブルー
最小/最大消費電力 (w) *7	最小 6/最大 40 (温風モード: 1,400)	最小 6/最大 40
空気清浄能力 適用床面積 (畳)	9*8 (30分) 25*9 (60分) (8畳を清浄する目安 27分*8)	12*8 (30分) 35*9 (60分) (8畳を清浄する目安 22分*8)
暖房能力 適用床面積 (畳) *10	コンクリート住宅 10 / 5 木造住宅 6 / 4	-
本体サイズ (mm) (高さ×幅×奥行き)	764 mm × 248 mm × 248 mm	1,050 mm × 220 mm × 220 mm
本体質量 (kg)	5.69kg	4.99kg
公式発売日	2021年5月26日 (水)	2021年5月26日 (水)
本体価格	オープン価格	
フィルター価格 (税抜)	7,000 円	
フィルター交換目安	約 1 年 (1 日 12 時間使用の場合)	
メーカー保証	2 年間	

ダイソンについて

- ダイソンはグローバルなテクノロジー企業として、英国、マレーシア、シンガポール、フィリピンでエンジニアリングおよび試験業務を行っています。ダイソンは、約 6,000 名のエンジニアと科学者を含む 14,000 名を超える社員を世界中で直接雇用しています。
- 2020 年 11 月にダイソンは、2025 年までに製品ポートフォリオを倍増すると同時に複数のまったく新しい分野への参入拡大の予定を発表しました。これに伴い今後 5 年間で新たなテクノロジー研究開発に 27 億 5,000 万ポンド (約 3,766 億円*) を投資する計画しています。この投資は、主にシンガポール、英国、フィリピンの拠点を対象とするもので、これを支えるソフトウェア、機械学習、ロボット工学などの分野でのエンジニアや科学者の増員計画が含まれます。 *1 ポンド=137 円換

Newsroom について

Newsroom では、製品開発秘話など、製品にまつわる周辺情報を公開しています。Newsroom については、[こちら](#)

*7 首振り機能オフ時。*8 (社) 日本電機工業会規格 (JEM1467) に基づき算出。*9 自社基準に基づき算出。*10 50mm 断熱材あり/断熱材なしの目安。(社) 日本電機工業会規格に基づき、1 畳=1.65m²として算出。